

令和5年度

第4回桐生市地域公共交通活性化協議会（法定協議会）

開催結果

日時：令和5年9月14日（木）午後2時
場所：美喜仁桐生文化会館（桐生市市民文化会館）
4階 スカイホールA

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事

【報告事項】

- (1) 桐生市交通ビジョン(案)について

【協議事項】

- (1) 桐生市地域公共交通計画について
 - ①計画の内容
 - ②現況把握・ニーズ調査
- (2) 桐生市地域公共交通計画の今後のスケジュールについて

《協議結果：全件 出席者の 3 分の 2 以上の賛成により承認》

- 4 そ の 他
- 5 閉 会

5 議事等

【報告事項】

- (1) 桐生市交通ビジョン（案）について [資料 1]
- ・ 桐生市交通ビジョン（案）概要版の説明（事務局）

【協議事項】

- (1) 桐生市公共交通計画の策定にあたって

① 計画の内容 [資料 2]

- ・ 資料 P. 1～8 説明（事務局）

②-1 現況把握・ニーズ調査 [資料 2]

- ・ 資料 P. 9～18 説明（IDA）

●(委員長)：資料 P. 16 について、水沼駅までのアクセス手段としてバイクが 100%となっているのは何故か。

→△：PT 調査は全数調査ではないため、サンプル数が少なかったことが要因と考えられる。
注記にあるように、参考値として頂きたい。

●(佐羽)：資料 P. 13 について、着目的別として「自宅へ」とあるが、集計に含む必要があるのか。

→△：1 回の外出であっても、複数の目的地が含まれるため、集計に含めている。例えば、自宅-勤務先-買物-自宅の場合では 3 回の移動となる。

●(品川)：資料 P. 18 について、ヒアリング項目に「⑤鉄道、バス利用の阻害要因」とあるが、良いところを把握できるような聞き方が良いのではないか。利点を伸ばしていくことで、利用者も増えていくと考える。

→△：積極的な質問内容を検討する。

→●(委員長)：選択形式か議論形式か決定していないが、利点を把握できる項目を用意する必要がある。

→△：ディスカッションの実施ができれば一番良いが、いずれの形式においても、積極的な質問・選択肢となるよう検討する。

②-2 現況把握・ニーズ調査 [別紙 1、2]

- ・ 別紙 1、2 説明（事務局）

●(品川)：わたらせ渓谷鉄道においてクラウドファンディングを実施した際、市民の方から「学生時代に友人と鉄道に乗って楽しかった」「お年寄り達のコミュニケーションの場と

なっていた」という意見を多数頂いた。鉄道に乗って楽しかったことや、乗りたくなるような積極的なことを聞けると良い。

- (小島)：社会福祉協議会のイベントとして MAYU をレンタルし、高齢者達で乗車体験を実施したところ、「楽しかった」という意見が多かった。アンケートにおいても車両の貸出が挙げられているが、車両だけの貸出なのか、運転手付きなのか気になる。
- (佐羽)：アンケートを回答した結果、市民が公共交通の現状に気づくことが重要。PT 調査等の分析で車社会の現状を伝え、将来車に乗らなくなった際にどうするか考えて頂きたい。交通ビジョンに掲げているように、変わることの重要性に気付けるアンケートとすべき。
 - ：回答者の分かり易さや答え易さを考慮するとともに、バス交通が喫緊の課題であるため、現状のアンケート設計としているが、気づきがあるアンケートとしたい。ただし、スペース的な問題もあるため、できる限りご意見を反映できるよう検討するのでご了承いただきたい。
- (佐羽)：軌道系交通からバスに置き換えた地域の現状がわかるような情報提供資料にすべき。また、栃木県の LRT 等の事例があるが、桐生市においては、今ある 4 路線をどのように活用していくのか情報を提供できると良い。
- (木村)：属性情報について、男女で性別を分ける理由は何か。また、「その他」は必要あるのか。
 - ：性別により利用実態が異なることが予想されるため、分けて記載をしている。
 - △：県の PT 調査分析においても、男女で行動実態が異なることが挙げられている。そういった要素を踏まえ、今後施策を検討していくことも考えられるが、現状で分ける必要性は特段ないと考える。
 - (委員長)：記載方法等については事務局側で検討を進めて頂きたい。
 - ：その他に頂いた意見については、スペースや期間的な問題もあるため、できる限りの反映ができるよう検討を進める。

(2) 桐生市公共交通等の今後のスケジュールについて [資料 2]

- ・ 資料 P. 20 説明 (事務局)